

東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会関係機関に向けて

東京都医師会・地区医師会・大学医師会等医療現場からの

オリンピック・パラリンピック開催についての意見書

4 年に 1 回開催されるオリンピック・パラリンピック大会は、スポーツを通じて全世界の人々に夢と希望を与える祭典であり、特に若い世代に対して大きな感動を与え、未来への前進につなげてくれることを願っています。

しかし、2020 年冒頭から全世界に蔓延している新型コロナウイルス感染症は、その収束への行程は不確実で、現時点で我が国において十分にコントロールされた状況とは言えません。

この状況下で、東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会の開催について、東京の医療を担っている現場の立場から、東京都医師会は地区医師会・大学医師会と連携して意見を申し上げます。

医療的見地からみたオリンピック・パラリンピック大会開催の必須条件は、

1、大会の開催を契機に感染が拡大しないこと

2、大会を開催することによって通常医療が圧迫されないこと

と考えます。

東京都の全地域において、通常医療はもとより新型コロナウイルス感染症への対応、並びに新型コロナウイルスワクチン接種の徹底について、全医療機関が総力をあげて当たっております。オリンピック・パラリンピック開催中または開催後に新規感染者数が激増したり、開催にあたって通常医療に過度な負担がかかったりいたしますと、医療状況が逼迫するばかりでなく、全国に感染を広げてしまうことになります。

大会開催の責任機関の方々には、十分な検討と対策のもと、開催や開催形式等を決定し対処されると存じますが、医療現場の状況を勘案しながら、開催するのであればぜひ必須条件を守れるように、無観客での開催も含め、適切な方向性と具体的な方策を早期に示していただきたいと存じます。また、有観客とした場合でも感染状況によって必須条件を維持できない場合には、都民・国民の安全・安心を守るために、無観客または中止とすることも考慮していただきたいと存じます。

私たち、東京都医師会、地区医師会、大学医師会をはじめとする医療関係者は、どのような状況においても、全力で都民・国民の健康を守るために尽力いたしますことを申し添えます。

2021 年 6 月 18 日

東京都医師会、神田医師会、中央区医師会、日本橋医師会、港区医師会、文京区医師会、小石川医師会、下谷医師会、浅草医師会、墨田区医師会、江東区医師会、荒川区医師会、足立区医師会、葛飾区医師会、江戸川区医師会、新宿区医師会、目黒区医師会、世田谷区医師会、玉川医師会、渋谷区医師会、中野区医師会、杉並区医師会、品川区医師会、荏原医師会、大森医師会、田園調布医師会、蒲田医師会、北区医師会、豊島区医師会、板橋区医師会、練馬区医師会、西多摩医師会、北多摩医師会、調布市医師会、武蔵野市医師会、三鷹市医師会、府中市医師会、町田市医師会、西東京市医師会、東久留米市医師会、稲城市医師会、八王子市医師会、日野市医師会、多摩市医師会、立川市医師会、小金井市医師会、小平市医師会、東京大学医師会、慈恵医師会、日本大学医師会、日本医科大学医師会、東京医科大学医師会、女子医大医師会、昭和大学医師会、帝京大学医師会

【緊急】

＜＜参考資料＞＞

“東京2020オリンピック・パラリンピック大会”に関するアンケート調査

回答対象：地区医師会長、大学医師会長、都立病院医師会長 全60地区

回答数：60地区医師会

調査期間：2021年6月15日（火）～6月17日（木）

1) “東京2020オリンピック・パラリンピック大会（以下、大会） についての医療現場からの意見書”について

	回答数	選択肢
90.0%	54	① 基本的に賛同し医師会名連記について承認します
0.0%	0	② 内容的に賛同できません
6.7%	4	③ 当会の立場上連名での意思表示は困難です
3.3%	2	その他（当会の立場上、回答は困難であります。）

2) 貴医師会としては大会についてどのようにお考えでしょうか？

	回答数	選択肢
30.0%	18	① 開催は中止すべき
38.3%	23	② 無観客での開催は可能
13.3%	8	③ 感染対策を徹底した上での少人数の観客での開催は可能
1.7%	1	④ 規模の縮小等開催形態を変更しての開催が必要
16.7%	10	その他（以下、参照）

- （その他意見）
- ・ 理事会で①と② 半数でした
 - ・ 開催は中止すべき、無観客での開催は可能。
 - ・ 屋内は無観客、屋外は感染対策を徹底した上での少人数の観客での開催は可能
 - ・ 新型コロナウイルス感染症が収束するまで開催を延期すべき
 - ・ 政府分科会の方針に沿うことが望ましい。
 - ・ 基本的には反対。開催するとしても無観客で、P Vなども一切無しは最低条件
 - ・ 感染状況によって①または②または③
 - ・ 当会の立場上、回答は困難であります。（2医師会）
 - ・ 回答を差し控えます

◆意見書の内容について、考え方、表現等加筆や修正の意見（一部抜粋）

1	選手、関係者、観客はワクチン接種者に限る事を前提とした場合に限り開催可能。
2	この必須条件が守れる保証などないのですから（むしろリスクはたくさんある） 医療現場からは、この必須要件が守れない場合は開催を返上すべき。条件が揃えばやってもいいとは医療現場は思っていない。
3	変異型ウイルスの急速な感染拡大が懸念されている中、世界中から人々が東京に集結し大会を強行すれば、新たな『東京型』と呼ばれる変異型のウイルスの誕生を招くことが懸念される。期間中に、変異型ウイルスによる感染爆発が見られた場合は速やかに中止する。特にパラリンピック期間中に第5波のピークが予想されており開催は中止を念頭とすべきである。
4	大会を中止することでコロナ感染が収束するのであれば「中止」を支持します。しかし、「中止」したところでコロナは収束しないでしょう。
5	大会は7/23～9/5まで長期に渡ります。（途中でオリンピックとパラリンピックの間の期間は中断はありますが。）最も、危惧するのは長い大会期間中に新型コロナウイルスの感染者が急激に増加した場合です。一度開催してしまった大会を、どのように管理するのか、そのような場合も想定した対応を組織委員会、都、国には求めて良いのではないのでしょうか。
6	このコロナ禍での開催は何のための五輪か。誰のための五輪か意味不明である。
7	無観客なら開催可というのは反対です。基本的にはこのような時期に開催すべきではないと思います。
8	オリパラにこれ以上の会員の出務を促すことは難しいです。
9	感染を拡大させないためにも、また猛暑の中での開催で熱中症予防のためにも、パブリックビューイングは全国的にとり止めるべき。

◆各地区において、オリパラ大会開催についての課題や問題点、また地区行政との連携や課題解決の試み等 (一部抜粋)

1	病院は周知のように逼迫していますし、地域の開業医も一般診療に加え、コロナワクチン接種（集団、個別）に行政も医師会も全力を注いでおり、オリンピックに割く時間も人的余裕もないのが現状です。基本的には現在の東京の感染状況で開催は難しいと考えます。
2	開催する場合でもパブリックビューイングは中止すべきである。 ワクチン接種に注力しているので、医師会としてラストマイルに設置されることが検討されている救護所での執務は困難である。
3	万スポーツ選手らの間で感染クラスターが起きた際に、どの会場で起きたらどの医療機関で対応するという、受け入れ施設や病床の確保について、あらかじめ決めておいた方が良いのではないかと考えています。
4	観客に対して医療体制の人的支援を救急が中心となり協力体制を構築していますが、どれくらいの観客動員を考えての運用になるか、早く提示して頂かないと医療体制のローテーションも組めない状況下にあります。
5	もしパブリックビューイング会場が設置された場合、地域の医師会は発熱外来・感染症自宅療養者に対する事業・予防接種事業等行う業務が多岐に渡っており、とても救護所等への協力は困難であると考えます。
6	競技場があるが、事前の実地訓練は全くできていない状況です。このような状態で競技場に観客を入れれば、「安心・安全」を担保することは極めて困難と言わざるを得ません。
7	政府の唐突な職域接種の施策で、問い合わせが殺到している。報道に扇動された各企業は接種を急ぎ混乱を来している。中小企業の産業医で診療所で個別接種を予定していた医療機関では、企業の規模の大小で接種格差が生じている。とにかくオリンピック開催のため場当たりのワクチン施策と、マスコミの「ワクチン接種に手上げせず打ち手が足りないのは、医師会の怠慢」との誤った報道には閉口している。
8	大会関係者、取材をする報道関係者、選手に接触するすべての人（ホテル関係者・タクシー運転手など）並びに観客にはワクチン2回接種から2週間以上たっていること、あるいは少なくとも48時間以内のPCR陰性証明書の提示または当日の抗原検査陰性を確認をすることを要望します。
9	医師会員医療機関での個別接種の比重が大きく、オリンピック期間は高齢者接種から64歳以下の接種への移行期で必要接種枠急増期に当たり、行政からも高齢者接種期以上の接種枠増加を求められています。 オリンピックへの医療者出動協力の余裕はありません。
10	企業や地区の大規模ワクチン接種と時期が重なることから、大会開催への医療機関の負担を最小限に抑えるよう御配慮お願いいたします。

◆各地区において、オリパラ大会開催についての課題や問題点、また地区行政との連携や課題解決の試み等 (一部抜粋)

11	選手団の受け入れを行う予定と聞くと、まだ行われるのか決定されていない。ボランティアのワクチン接種などについても具体的な話はない。
12	開催で人流が出来て、必ずコロナは増加します。開催とコロナ増加はセットと考えます。
13	感染拡大は観客数の制限などによりコントロールできると思いますが、多数の医療従事者の動員が必要であり、それだけの人的余裕はございません。
14	パブリックビューイングの中止（行政と連携し反対している）
15	競技場を有するため、感染拡大、熱中症対策で地域医療に多大な負荷がかかることは必至と思われます。
16	現在、五輪パラリンピック委員会はある程度の医療スタッフの確保にめどがついたと発表されたかと思いますが、具体的な状況が示されていません。本当に十分な医療体制の確保が出来ているのか心配です。 コロナ禍の診療に加えて、コロナワクチン接種に対する会員の負担が増えています。個別接種を行っている医療機関では、接種人数を増やすため休診日、休日にも接種を行うところも増えています。個別接種を行っていない会員は、集団接種に協力し、老人施設へのアウトリーチに参加していただいています。また、今後も健康診断も始まります。このような状況で、さらに医師会に医師派遣、協力要請がきても対応は困難です。行政には医療機関の負担を減らすために、今年度に限り健康診断期間の延長を検討していただきたいと思っています。 また、医療体制がしっかりと確保できた場合も、日本の夏にオリンピック・パラリンピックなので多くの観客が集まる状況では、コロナとの鑑別が難しい熱中症の増加も予想されます。結果的に医療機関の負担が増える事につながりますので、無観客での開催が良いと考えています。
17	新型コロナ対策及び一般診療、ワクチン接種で精一杯な状況にあり、オリンピック・パラリンピック大会対応まで行うことは困難です。
18	開催するにあたり、Dr.の依頼など、どこが対応するのも不明。対応を依頼するなら早めの情報提供をお願いします。
19	ワクチン接種で医師会員が多忙な中、観客ありでの開催となった場合、ラストマイルの医療救護所への医師・医療スタッフの派遣は極めて困難と考える。
20	行政から外国人チームの医療協力の打診があったが、個人クリニックでの対応は困難だと思います。

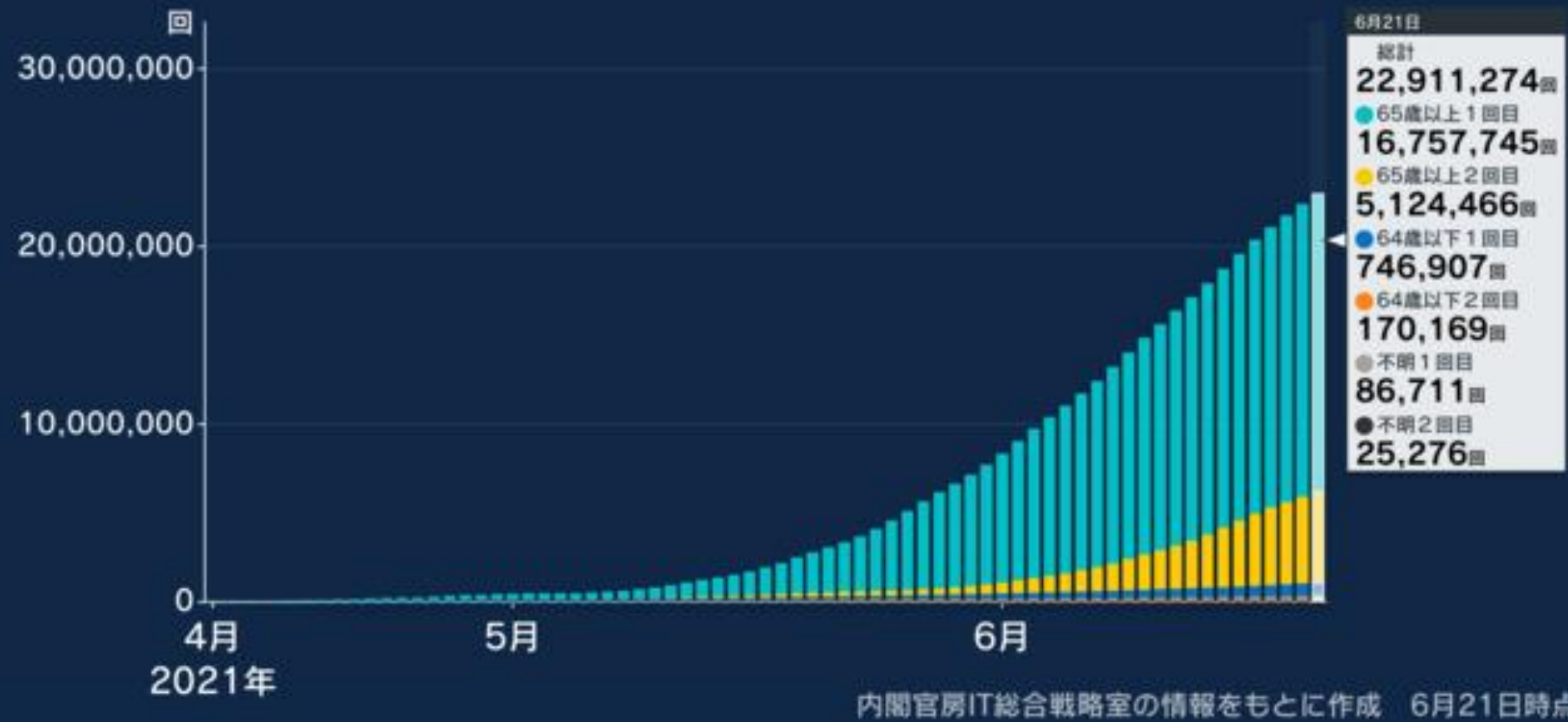
◆その他新型コロナウイルス感染症対策や大会自体への意見等（一部抜粋）

1	外出せずにエアコンのきいた室内でオリンピック観戦と応援ができるのに、政府が有観客にそこまでこだわる理由がわかりません。
2	人流抑制を掲げておきながら、オリンピックだけ観客動員するのはかなり矛盾を感じます。 有観客とし、昨年のようにラストラン救護所に医師会からの派遣を要求することだけは避けていただきたいです。
3	全参加者の入国時、大会直前および会期中の定期的PCRの徹底、入国者人数のスリム化、選手およびむしろ監督や付添人が自由に 出歩き感染したり、感染を蔓延させないようにするチェック機能、監視の徹底が重要と考える。
4	選手または観客の感染者および濃厚接種者の対応、確保施設の整備などを早く決定しシュミレーションする必要ありと考えます。
5	開催されれば無観客であっても、選手団だけではなく、メディア関係者・各国関係者等多くの方が来日します。ウイルスも日々変 異を繰り返しており、それが強い感染力を持つウイルスに変異する可能性もあります。国内に持ち込まれないようにするためには、 海外からの人流を制限する必要があると考えます。
6	中止や延期といった議論がいつの間になくなり、無観客か有観客かになり、それも有観客で1万人以内。国民の意見を全く無視 して、専門家の意見も聞かずに、自分たちの都合の良い方向へもっていこうとする政府の姿勢に納得いきません。
7	新型コロナワクチン感染症対策 人流を抑える マスク会食を含むマスク、手洗い、3密を避けるの徹底的継続 ワクチン接種
8	本来は中止すべきと考えますが、開催の方針が変更されないならば現状では無観客で行うべきと思います。
9	少しでも疑った時にはCOVID-19の抗原検査、PCRを躊躇なく施行し、感染の拡大を防ぎワクチンの実施に全力を尽くすことが必 要と考えている。若者のワクチン不安の解消が急務と考える。 会場に人が集まることの心配より、お祭りで浮かれて人が旅行など活動、遊びが活発化することに危機感を持っている。昨年のG O T O T O R A V E Lの二の舞を心配している。
10	国民に自粛を要請している中でオリンピックを開催すれば、若者を中心に気が緩みお祭りモードとなり感染は拡大する。一方選手 村では、アルコールを許可しコンドームを15,000個も配布するなど、濃厚接触を推奨するような環境を提供する。一体組織委員 会は何を考えているのか？現状の緩い検疫や法律では報道や大会関係者の完全な隔離・行動規制は困難でウイルスの国内への流入 は止まらない。「選手や関係者が新型コロナウイルスに感染すると速やかに優先して入院治療させる」と組織委員会と東京都は IOCと締結している。選手関係者に1,000人感染者が出れば、1,000人の都民のベッドが不足し医療は逼迫する。

◆その他新型コロナウイルス感染症対策や大会自体への意見等（一部抜粋）

11	コロナ患者を受け入れている病院。ポストコロナの患者を受け入れている後方病院。そして、発熱者の診療も行いながら、ワクチン接種を行っている多くの診療所。オリパラの安全な開催につながると信じて最大限尽力していることを理解していただきたい。
12	様々な関係部門において各々の思惑があるのは当然ですが、国民の生命を守ることを第一義とするのであれば、自ずと結論は出ていると思います。
13	もし、ワクチン確保に十分な目途が立っているのであれば、国、東京都の大型接種会場では接種券が届いた人は、予約なしでも受けられるようにして頂きたいと思います。年配の方、持病がある方は地元の集団接種やかかりつけ医で、若い方、健康な方は更に接種のハードルを低くして接種率を上げることがインド株への対応、またオリンピック開催にも効果があるのではないかと思います。
14	国等から十分な情報が届いていない。
15	無観客での開催をお願いします。人が集まるパブリックビューイングは中止で。
16	高齢者のワクチン接種をさらに加速させ、早急に、社会での活動範囲の大きい社会人、大学生・高校生へのワクチン接種をすすめないと、いつまでたっても感染者数がしっかりと減少しないと思う。感染者数を減少させることが世の中をまわし、社会の不安を抑えることになると思います。
17	オリンピックのレガシーは、スポーツ、社会、環境、都市、経済の5つに分類され、そのすべてが直接的、間接的に健康に関するものとされている現状を鑑みて、TOKYO2020が負のレガシーと成らないようにするにはどのようにしたら良いのか真剣に考えなければならない。
18	個人的には中止した方が良くと思いますが、意見書の必須条件が守られれば可能性としてありかと思います。
19	本来なら開催する状況ではないと思います。しかし、政治的な判断でどうしても開催するのなら、少なくとも無観客か、それに準じて催すべきだと考えます。

日本国内のワクチン接種回数（年代区分別・累計）



医療従事者などのワクチン接種人数（累計）

NHK



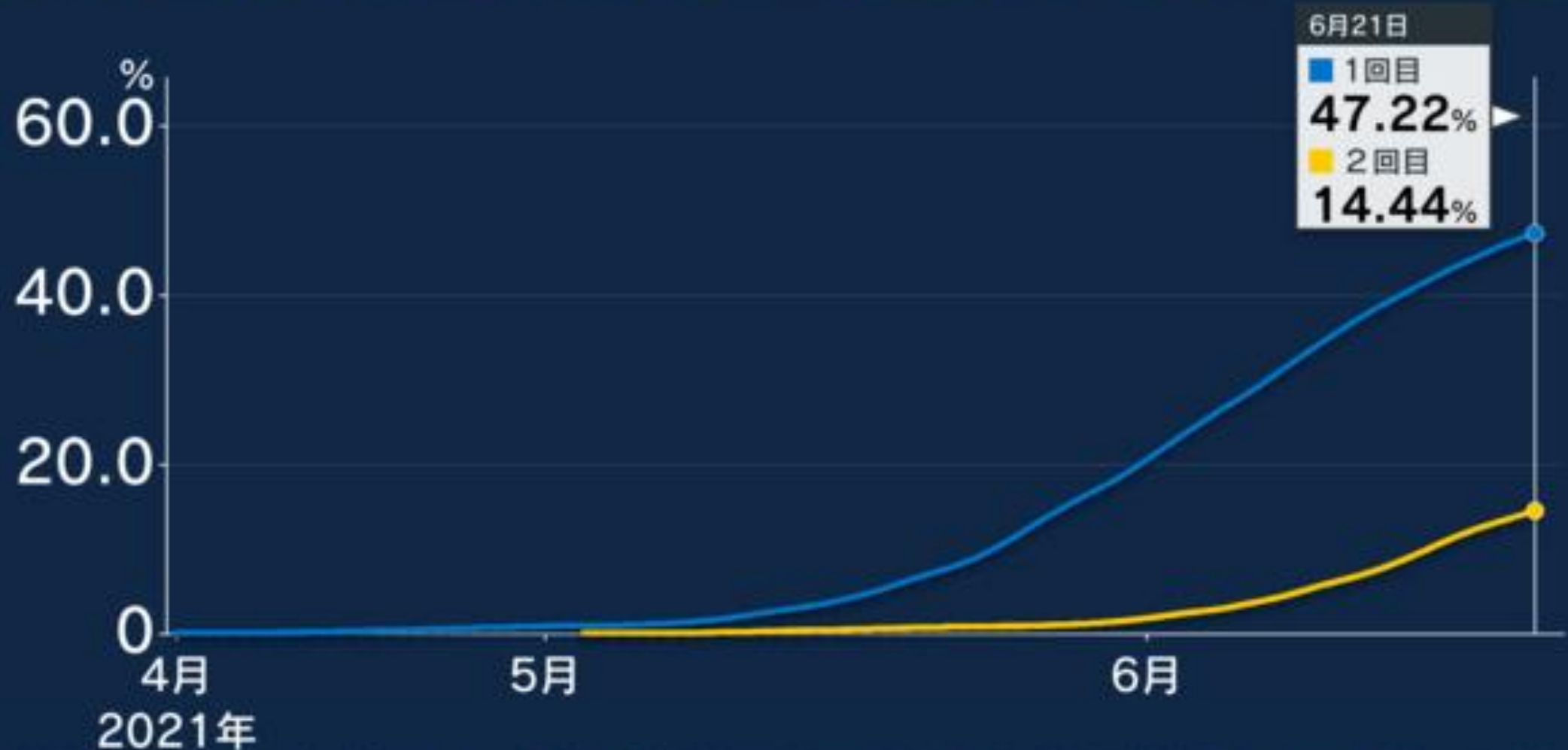
厚生労働省や首相官邸の情報をもとに作成

高齢者などのワクチン接種人数（累計） NHK



厚生労働省や首相官邸の情報をもとに作成

日本国内 65歳以上の高齢者 接種した人の割合



内閣官房IT総合戦略室の情報をもとに作成 割合算出の分母は2020年1月1日住民基本台帳による 6月21日時点